

2022年1月28日

ベトナム初の自動車メーカー、ビンファスト；EV 専門に旗幟を鮮明

2022年1月、ベトナムの複合企業最大手ビングループ傘下のビンファストは、米ラスベガスで開催された世界最大級の先端テクノロジー見本市「CES」で5車種の電気自動車（EV）モデルをお披露目しました。同イベントで、5つの市場セグメント向けに「VF5」（セグメントA）、「VF6」（セグメントB）、「VF7」（セグメントC）、「VF8」（セグメントD）、「VF9」（セグメントE）を発表しました（VF8、VF9はロサンゼルスモーターショー2021年で発表の「VFe35」、「VFe36」を改名）。同見本市で、ビンファストの新任グローバルディレクターであるレ・ティ・トゥー・トワイ氏は、ビンファストが2022年末までに完全にEVに特化すると旗幟を鮮明にしました。



米ラスベガス CES2022 でビンファストは完全 EV 戦略を発表（写真提供：ビンファスト）

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

ビンファストの EV モデル 5 車種 (写真提供 : ビンファスト)



VF8 (VFe35)



VF9 (VFe36)



VF7



VF5



VF6

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社 (CAM) が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

1月5日から予約を開始したVF8とVF9には自動運転機能も備わっており、それぞれの「Eco」と「Plus」仕様はレベル 2+、「Premium」仕様はレベル 3～4 となっています。価格は、VF8 が米国で 4 万 1,000 ドル～、欧州で 3 万 6,133 ユーロ～、ベトナムで 9 億 6,100 万ドン～です。一方、VF9 は米国で 5 万 6000 ドル～、欧州で 4 万 9,280 ユーロ～、ベトナムで 13 億 1,200 万ドン～です。特設予約ポータルは、CES 2022 で開催されるビンファストの「Global EV Day」イベント期間中の 1 月 5 日～4 月 5 日まで、米国、ベトナム両市場で同時に開設されます。この間に予約した顧客は、同社独自のメンバーシッププログラム「VinFirst-Pioneer's Gratitude to Pioneers」に自動的に加わることになります。さらにビンファストは車両搭載バッテリー維持費の全額もカバーし、充電容量が初期の 70%以下になった場合に無償で交換に応じます。ビンファストによると、1 月 8 日午前 8 時の時点（販売開始から 48 時間後）、同社は EV モデル 2 車種（VF8 と VF9）に合計 24,308 台の注文を受けました。特に、ヘルスケア分野の有力企業 Artemis DNA 社から、VF 6、VF7、VF8、VF9 など合計 100 台の大量受注がありました。

ベトナム国内では、ビンファストが 2021 年 12 月 25 日に EV 「VFe34」の納車式を開催し、購入者への引き渡しを開始しました。2021 年 12 月に引き渡した台数は約 100 台、2022 年 1 月末には約 1,000 台となる見込みです。また、同社は充電インフラの整備にも余念がなく、ベトナム国内で充電設備を 2022 年内に 15 万基に増やす方針です（現在 4 万基）。



VFe34 を昨年 12 月に初納車（写真提供：ビンファスト）

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

ビンファストは 2022 年下期に予定される米国市場での新規株式公開に向けて準備を着々と進めています。具体的には、昨年第 4 四半期にビングループは保有するビンファスト株式 51.52%をシンガポールに本社を置く子会社のビンファスト・シンガポールに譲渡しました。ビングループのファム・ニャット・ブオン会長が所有するベトナム投資グループも、ビンファスト・シンガポールに同社株 48.38%の譲渡を行いました。ビングループとベトナム投資グループは譲渡後、ビンファスト・シンガポール法人を通じて、ビンファスト株式の 99.9%を間接的に保有することになりました。ビングループのレ・ティ・トゥー・トウイ副会長によると、ベトナム企業の米国上場は法律上可能ですが、それには実務的あるいは法的な課題があるため、ビンファストはビンファスト・シンガポール法人を通じて米国に上場する方式を検討している模様です。IPO が成功裏に完了すれば、ビンファストは世界の株式市場を代表する証券取引所に上場する初のベトナム企業になる見込みです。

米テスラ、リビアンや中国 BYD、NIO と EV 専門メーカーがひしめく世界の自動車業界ですが、発展途上国も巻き込んで本格的な EV 戦国時代に突入したようです。

<http://www.capital-am.co.jp>

以上

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。